

「特別活動」活動案

平成 27 年 7 月 1 日 (水)
対象児童 2-6 年生 19 名

(1)テーマ

ダイラタンシー現象

(2)活動のねらい

片栗粉を水でといたとき、どのように変化するかを予想する。
ダイラタンシー現象の感触を楽しみ、言葉で表現する。

(3)準備物

片栗粉、水、 ペットボトル、洗面器、新聞紙

(4)展開

時間 (30分)	児童の活動	指導者の支援
5分	○何の粉か考える。 ○片栗粉は、普段どのようなことに使われているか考える。	【提示】【予想】 ●粉を見せ、何か当ててもらおう。 ●日常的に、片栗粉は何に使われているか尋ねる。(アレルギーの子がいないか確認。)
8分	○どのようになるか予想し、同じ班の人と話し合う。 発表する。	●片栗粉を水でといたら、感触はどのようになるのかを、ワークシートに書いて予想させる。
15分	○実験をする。 ○ダイラタンシーの現象を楽しむ。 ○片づけをする。(手洗い、洗面器や新聞紙を前に返す)	●実験の際の約束(片栗粉を投げない。班全員が参加できるように譲り合う。)を確認する。 【実験】 (片栗粉：水 = 2 : 1 or 3 : 2 の割合)
7分	○結果や感想をまとめ、発表する。	●水を少しずつ入れるよう指示する。 ●片づけの指導。 【まとめ】 ●結果をまとめる。自分の言葉で表現する。 ●感想を発表する。

[活動を終えての感想 (成果及び課題)]

- ・少し騒がしく、指示が通りにくかった。
- ・最初に説明した約束を、最後まで守ることができた。
- ・ダイラタンシーの感触を楽しむことができた。
- ・何人かの児童が持って帰ろうとしていたので、最初に持って帰ってはいけないことを伝えておくべきだった。